

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社チル・リブ 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 20日		～ 令和7年 4月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 20日		～ 令和7年 4月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ◎利用者(本人)様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの個性に応じた支援 ・子どもの心と体の状態を把握しての支援 ・基本的信頼関係の構築に力を入れた支援 ・運動やアクティブな活動の多く取り入れた支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◎利用者(本人)様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> ・利用児童に応じた日々の支援を計画、実行 ・その日の活動課題を毎日のフィードバック会議にて抽出 ・発達支援会議を実施し、課題を広く抽出し対応策を講じている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎利用者(本人)様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックした内容を次に繋げていけるために、見える化の仕組み作りを実施 ・サービス提供記録に関して、常に見えるようシステム内保管を実施していく
2	<ul style="list-style-type: none"> ◎保護者様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> ・連絡ツールを十分に活用しての連携 ・家庭支援が必要な場合、最大限の支援の提供 ・孤立を徹底して排除し、寄り添った支援を提供 ・個別相談窓口の強化と十分な提供 	<ul style="list-style-type: none"> ◎保護者様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方へのごまめな連携を行う為に手頃な連絡ツールを利用し、すぐに連絡が取れる状態にしている ・保護者の方からの悩みや相談に対して、すぐに返信できる体制に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎保護者様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> ・新システムの導入を行い、連絡に関しての手間を省き、効率化を図っていく ・個別に気軽に面談や相談が出来る窓口を設けていく
3	<ul style="list-style-type: none"> ◎スタッフに関して <ul style="list-style-type: none"> ・老若男女のスタッフを確保(男女比率に偏りがなく、年齢層の幅も広い) ・スタッフ連携の強化を実施し、スタッフ間コミュニケーションを大切にしている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎スタッフに関して <ul style="list-style-type: none"> ・採用は、会社理念に共感でき、偏りのない幅広い人材確保を意識 ・スタッフ連携を図る為の会議やミーティングを充実 ・メンタルフォローの面談や相談窓口を設け、スタッフのモチベーションアップを図っている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎スタッフに関して <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ育成を目的とした評価制度を導入しているが、更なる見直しを行いより良い評価制度を構築 ・スタッフ連携が強化出来る場面を多くするために、スタッフ全員で行える事などを継続して取入れる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対する、情報の展開、周知が十分に出来ていない ・事業所として定期的に行っている活動(避難訓練等)が十分に公表できていない ・日頃の活動が十分に発信できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を発信する場や方法が少なく、また公開する機会が少ない ・日頃の発達支援の比重を多くしている為、情報発信する工数を捻出できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者を決めて定期的に配信していく ・スタッフからもアイデアを集め、工夫した発信を検討していく
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流が十分に出来ていない ・地域の社会資源をまだまだ活用できていない ・地域活動に参加できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との接点を持つ検討時間の確保が出来ていない ・事業所としても、地域の交流を課題として大きく取り上げていない ・事業所として、地域にどのような社会資源があるか把握する情報収集を行えていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者を決めて地域の情報収集していく ・交流の場として、とても身近で行われているお祭り等に参加していく
3			